

DISTRICT 2640



2013-2014 VOLUME 6

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

ガバナー月信

12月号

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー 第2640地区月信

- RI 会長メッセージ
- ガバナーメッセージ
- 家族月間について
- 「IT委員会」より
- 緊急医療体制委員会
- 新会員報告
- 青少年交換日本文化体験会
- 米山記念奨学委員会 社会貢献活動
- 健康管理委員会「江戸時代の平均寿命」
- 会員数・月例報告

2013-2014年度ガバナー

久保 治雄

〒596-0825

大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号

TEL:072-437-2640 FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>





ポール・ハリスの家

RI President Message ポール・ハリスの家

2013～2014年度 国際ロータリー会長
ロン D. バートン

親愛なるロータリアンの皆さん、冬のある日、ロータリーの創設者であるポール・ハリスはシカゴ郊外の手入れの行き届いた通りを歩いていました。丘の斜面からそりで滑り降りてくる子どもたちを見て、彼はニューイングランドで過ごした少年時代のことを思い出しました。その時、もし自分が家を持つなら、ロングウッドドライブのあの丘の上にしよう、と決心しました。

カムリーバンクはロータリーの歴史

1912年、ハリスと妻のジーンは、その夢を実現しました。二人はその新しい家を、ジーンが育ったスコットランドの通りの名前にちなんで、カムリーバンクと名づけました。

ハリス夫妻は自分たちが世界中を旅行して集めた物に囲まれながら、何年もの間、ロータリーの会合を開いたり、訪れた賓客をもてなしました。彼らがフレンドシップガーデン（友愛の庭）に植えた木々は、今もなお、その庭を美しく彩っています。1947年、ハリスはその家で息を引き取り、それから間もなくジーンはその家売り、スコットランドに帰りました。

ハリスの家を保存しよう

その家は、2005年にポール・アンド・ジーン・ハリス・ホーム財団が買い戻すまでに2回以上所有者が変わりました。同財団の活動を通して、また、シカゴやナパービルのロータリークラブの支援を得て、そのハリス夫妻の家は、解体を免れました。今、親睦と奉仕の精神で集うロータリアンのための場所として、この家を後世に引き継げるかどうかは私たちにかかっています。

国際ロータリー（RI）の理事会では、ロータリーの歴史ともいえる、このかけがえのない建物の修復を支援するために、ポール・アンド・ジーン・ハリス・ホーム財団に50万ドルを貸し付けることを決めました。必要なところを修復し、この建物を博物館や歴史的建造物として運営する資金として、そのプロジェクトに500万ドルの目標額が決められました。

協力をお待ちしています

私はポール・アンド・ジーン・ハリス・ホームの修復を約束していますが、皆さんにもこのプロジェクトは支援するだけの価値があると賛同していただきたいと願っています。妻のジェタと私は、ロータリー財団に寄付をして用途推奨冠名基金を創設しました。この基金はロータリーの歴史を愛する思いと、いにしへのロータリーを保存しようという願いを、私たちと分かち合っただけの方からの寄付をお受けしています。

もしご賛同いただけるなら、RIのウェブサイト www.rotary.org/daf（英語）にアクセスして、「how to contribute」をクリックしてください。アカウント名は「Paul Harris Home Preservation」、番号は「474」です。金額にかかわらず寄付を歓迎します。多額の寄付をしてくださった方には、家屋や庭園の中に名前を記載することもできます。

このような特別な方法でポール・ハリスの精神をたたえる機会があることに私たちは胸を躍らせています。一緒に、これからのロータリアンのためにポール・ハリスの家を保存することができるのです。



2013～2014年度
国際ロータリー会長

ロン D. バートン





朋友ロータリアンの皆さま

RI President Message 朋友ロータリアンの皆さま

2013～2014年度 国際ロータリー会長
ロン D. バートン

ご存知のように、11月8日、史上最大の台風がフィリピン沿岸の町や村を襲い、甚大な被害をもたらしました。何千という方が命を落とし、数十万人の被災者が家を失い、食糧や水のない生活を強いられることとなりました。

ロータリアンである私たちも、こうした被災者を救いたいと考えていると思います。クラブの皆さまには、緊急援助物資を提供するために今すぐ行動を起こすとともに、家屋や学校、事業の建て直しなど、復興に向けた計画を立て始めていただけるようお願いいたします。ロータリーは災害救援団体ではありませんが、助けを必要とする人を支援することが、ロータリーの仕事です。これほどの災害となれば、その被害は、6つの重点分野のすべてに影響するものとなります。

オクラホマ州を巨大な竜巻が襲い、家々が破壊されたとき、ロータリアンが支援活動を行い、地域社会に変化をもたらしたのを、私は目にしました。広範囲にわたって地域社会が破壊されたことは、非常に悲しいことです。そんな中、ロータリアンが直ちに現地に赴き、破片や残骸の除去作業、食糧と水の調達、すべてを失った家族たちへの支援といった活動を開始しました。被災地のロータリークラブも、忍耐と強さを見せました。破壊された町を立て直すために、皆で支援活動にあたりました。

私が一番心を打たれたのは、世界中のクラブから寄せられた支援と思いやりでした。大災害という悲劇の中で、みんなが助けようとしてくれていることを知りました。ロータリーの精神は、私たちがいかにして「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」もたらすことができるか、ということに尽きるのです。

ロータリーのパートナー団体であるシェルターボックスは、緊急のシェルター用テントやその他の援助物資を提供するかたちで、何千という家族を援助しています。シェルターボックスは、台風がフィリピンを直撃する以前の9月から、同国を襲ったマグニチュード7.1の地震で家を失った家族を援助するために、現地で活動をしていました。

ロータリーがシェルターボックスとのパートナーシップを結んだのは、このような災害時の支援のためです。金曜日、私はシェルターボックスのウェブサイトを訪れ、被災地の家族を助けるために同団体に寄付しました。できれば皆さまにも、シェルターボックスをご支援いただきたいと思います。どんなにささやかなサポートでも、被災した方々の生活を少しでもよくすることができます。シェルターボックスは、現地のニーズの特定や支援の提供のために、ロータリー会員からの支援や協力をありがたく受け付けています。同団体への連絡は、Eメール

rotaryrequest@shelterbox.org

でお送りください。

フィリピンには、21,000人以上のロータリー会員がいます。今回の台風で被災した地域には、第3860地区、第3850地区、第3830地区があります。私たちは被災地のガバナーと協力し、どのような支援が最も必要とされているかを検討しております。今後の状況は、随時 www.rotary.org でお知らせしてまいります。

現地で懸命に活動するフィリピンの朋友たちに世界中のロータリアンが支援の手を差し伸べてくださると信じています。支援方法についてご質問がありましたら、relief@rotary.org までお寄せください。

よろしく願いいたします。

心を込めて

2013～2014年度
国際ロータリー会長

ロン D. バートン





ガバナーメッセージ (1)

Governor's Monthly Letter クラブ会長・幹事様

国際ロータリー第 2640 地区ガバナー
久保治雄

12 月は、家族月間 (Family Month) です。

1995 - 96 年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして 1995 年 11 月の R I 理事会において、2 月の第 2 週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003 年 7 月の同理事会において、2003 - 04 年度ジョナサン・マジニア会長が、家族の重要性を主眼にしたことを称え、12 月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

今月は、R I ロンド・バートン会長配偶者であるジェタ・バートンさんの国際協議会でのスピーチを紹介いたします。

ロータリー・ファミリー
ジェタ・バートン
RI 会長配偶者
皆さま、こんにちは。



左より
久保治雄 DG・ロンド・バートン RI 会長・配偶者ジェタ・バートン様

夫のロンと私にとって、ロータリーは家族のようなものです。非常に大きなこの家族の一員となることができて、とても幸運に思います。長年にわたって、この家族を大切にすればするほど、そこから多くのことが得られたと思います。

1983 年、ロンがクラブの次期会長であった年に、RI 国際大会への出席を兼ねた家族旅行を計画し、トロントへ出かけました。子どもたちはそれまで、ロータリーの国際性を目にすることはありませんでした。

家族で食事に出かけたある晩、たまたま日本のロータリアンのテーブルの隣に座ると、そのうちの 1 人が、日本の端午の節句についてお話ししてくださり、こどもの日に飾るといふこいのぼりを子どもたちにプレゼントしてくださいました。私たちは今でもこのこいのぼりを、あの晩の素晴らしい記念としてとってあります。あの晩にこそ、ロータリー・ファミリーの国際性を実感することができました。

この日本のロータリアンは、ロータリー・ファミリーの子どもたちに会うだろうと予想して、子ども用のお土産を用意していたのです。この方は今でも私たちのロータリー・ファミリーの 1 人です。

それから数年後、オーストラリアからの研究グループ交換チームを受け入れ、スティーブさんさんと出会いました。スティーブさんは、オーストラリアのニューサウスウェールズ州で羊牧場を営んでいます。彼も英語が母国語ですが、私たちとは全く違う話し方をします。

最初は、子どもたちが彼の話を理解できませんでしたが、それもたちまちに慣れて、完全に理解できるようになりました。スティーブさんは音楽を耳で聞いて、それをピアノで演奏することができるという才能の持ち主でした。歌の一部を口ずさめば、それをすぐにピアノで弾いてくれます。

私たちは彼の才能にいたく感心し、子どもたちは何曲も演奏をリクエストしていました。スティーブさんが子ども



ガバナーメッセージ (2)

好きで、忍耐強い人であったのは何よりです。ある晩、子どもたちは、遠く離れた外国からやってきたスティーブさんについて、私に次のように言いました。「私たちとおんなじだね」。なんと素晴らしい発見でしょうか。

スティーブさんの出発のときが来ると、子どもたちは泣きながら彼を見送りました。スティーブさんをはじめ、これまでに出会った GSE チームメンバーたちは、私たちの大切なロータリー・ファミリーです。そしてナイさんとの出会いがありました。オクラホマ大学に留学していた台湾からの留学生です。

ロータリー平和フェローシップの問い合わせをしてきたのをきっかけに知り合いとなりました。ノーマン・ロータリー・クラブと私たちの地区は彼女をフェローシップに推薦することを決め、申請プロセスを通じて、ナイさんについてよく知ることができました。彼女が東京の国際基督教大学に留学する間、またアフリカで実地体験をする間、そしてそれ以降も連絡を取り続けています。紛争解決について学ぶ機会が得られたことは、人生で最高の経験であったと彼女は言います。

台湾に戻ってからロータリーに入会し、現在はテキサス A&M 大学で戦略管理を専攻する博士号課程で学んでいます。特に、ソーシャルネットワークと企業の社会的責任が主な研究テーマです。彼女は将来立派に活躍をしてくれることでしょう。彼女がロータリー・ファミリーの一員であることを誇りに思います。

2009 年、ロンと私は、オーストラリア、ブリスベーンのクイーンズランド大学で開かれた年次平和セミナーに出席し、ケビンさんと出会いました。彼の発表した論文は、紛争解決の研究に社会学の要素を織り交ぜ、一味変わった平和構築論を展開していました。とても熱心に発表していたのを覚えています。現在彼は、アフガニスタンで暴動鎮圧と平和構築に努める NATO 国際治安支援部隊に提言を行い、理論を実践に生かしています。彼のおかげで、より多くの人々が平和な未来を望むことができます。ナイさん、ケビンさんをはじめ、私が出会ったそのほかの平和フェローたちは今ではロータリー・ファミリーの一員となっています。

私は 1997 年にロータリーに入会しましたが、私のロータリー・ファミリーはたちまちのうちに、ロータリー・クラブの会員と、提唱するインターアクト・クラブの会員を含む大きな集まりになりました。時々、2つのグループが協力して、「ブリザード・バッグ」の袋詰めをして、「ミールズ・オン・ウィールズ (Meals on Wheels)」へ届けています。ブリザード・バッグとは、悪天候で食事の配達を受けられないときのために、保存食を袋に詰めたものです。私たちロータリアンは、食料を袋に詰めればよいと考えていたのですが、インターアクトはそれではまだ十分でなく、もっと心をこめて袋の飾り付けをする必要があると言いました。



そうして私たちは袋の装飾に取り掛かりました。子どもたちと一緒に作業するのは、実に楽しいものです。ともすれば退屈になりがちな作業も、一緒に行うことで、笑いにあふれ、愛情を込めて作業をすることができました。また、袋を配達するときには、訪問先の人々とできるだけ会話を交わすようにしました。

食料の配達を受け取る人の中には、犬のえさをかうお金がないために、自分の食べ物を犬に分け与えている人がいることを、インターアクトの生徒が発見しました。その結果、犬を飼っている人には、犬のえさも袋に入れて配達するようになりました。インターアクトで活動する子どもたちをととても誇りに思います。彼らが次世代のロータリー・ファミリーとして成長する様子を大変頼もしく感じます。



ガバナーメッセージ (3)

ロンと私がビル・ボイド会長夫妻のエイドを務めていたとき、ポリオ・プラスで素晴らしい活躍をするジェニーさんという人物について耳にしました。2006年国際協議会でそのジェニーさんが講演したとき、直接話をする機会があり、オクラホマを通じた縁があることが分かりました。

1971年、彼女は私の地区のフレデリック市で、青少年交換に参加していたのです。当時受け入れ側で父親のような存在だったジムさんから、ロータリーのポリオ・プラス・プログラムについて聞いたそうです。後にロータリアンとなると、インドの全国予防接種日に参加しました。ここでこの経験に心を打たれ、彼女は人生の大半をポリオ撲滅に捧げるようになりました。ポリオ撲滅のために、インド、パキスタン、エチオピア、ナイジェリアで積極的に活動を続けています。あるときジェニーさんはこう言いました。「ときどき振り返って思うのは、当時ジムさんがポリオ・プラスについて話をしてくれたとき、それが私の人生にどれほどの影響を与えるか、ポリオのない世界という目標を達成するために、皆と協力して私がどれほどの役割を果たせるか、ジムさんは知っていたのかもかもしれません」。私のロータリー・ファミリーの一員であるジェニーさんは、現在もポリオ撲滅活動を続けています。

ギルのロータリー研究会に出席しました。研究会のテーマは「波及効果を生む」で、プログラム冊子には、水溜りに小石が投げかけられ、その周りに水の輪が広がっている絵が描かれていました。これはロータリーの活動をうまく象徴しており、私のロータリー・ファミリーへの思いにも通じるものがあります。ロータリー・ファミリーもさざ波のように広がり続けていくものです。

私のロータリー・ファミリーには、ロータリアン、青少年交換学生、インターアクター、ローターアクター、GSEメンバー、平和フェロー、同期のガバナー、研修リーダー、理事、管理委員、そして彼らの家族が含まれます。

自分の家族の功績を誇りに思うように、ロータリー・ファミリーが成し遂げたロータリーの奉仕を誇りに思います。最後に会ったのが数日前でも数年前でも、再会したときに、ロータリー・クラブや地区での活動を聞くといつも嬉しく感じます。

今日、皆さまは私のロータリー・ファミリーとなります。皆さまがこのファミリーの一員であることをとても嬉しく思います。一人ひとりが「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」実現するための方法を見出し、ロータリーのさざ波を大きく広げ続けてくださることを願っております。新しいロータリー年度における皆さまのご活躍を、心よりお祈りしています。

ご清聴ありがとうございました。

ジェタ・バートン



昨年10月、ロンと私はニュージーランド、インバーカー



国際ロータリー第2640地区ガバナー

久保治雄



『家族月間について』

パストガバナー
勝野 露観

ロータリーに於て、ロータリアンは毎月、月ごとに様々な目標を与えられ、それについて深く考えてみて下さいと提唱されております。

それが「月間のターゲット」です。ちなみに先月の十一月は『ロータリー財団月間』でした。今月は『家族月間』になっております。

家族と云う存在

何と云う響きの良い言葉でしょう！！

私達は両親の暖かく深い愛情と慈育を受けて成長し、大人になって行くのであり、幼な子の頃は、両親の愛がなければ一日も生きて行けない、ひよわな存在であったのです。母親が手抜きをすると、すぐに生命にかかわってくるので、常に、母親の細かい配慮によって生かされておる、それだけ母は常に、神経を張りつめて我が子を見守らねばならぬと云う強いストレスのもとに毎日を生きておるのが現実なのです。

この事は、昔も今も変らぬ人間の営みなのです。「親の心、子知らず」「墓に布団をかける」と云う諺がある様に、子供は親がどれ程の思いを以て育ててくれたかと云う事を考えもせず、そして、やがて「子を持って親の恩を知る」ようになるのです。子を育てるのが当然の親の役目であり、あたり前だと云う乾燥した発想で、自分の幸福しか考えず、自分の将来、人生しか頭の中に入らない。これが大多数の若者の発想です。私も若い頃はそうでした。

しかし、年を経、人生の経験が古くなるにつれ、何よりも身近かで大切な存在は家族であるとする事を、しみじみと感じるようになっていきます。一番真剣に利害抜きに心より心配し、考え、幸福を考えてくれているのが家族なのです。それを本当に理解し、感謝の心を持って家族の一人一人に接する事により暖かい、明るい、思いやりに充ちた家族になるのでしょうか。そしてこの事こそが本当の人間の幸福な姿なのだと思いますが、皆様はどう思われますか？！こんな家庭に育った子供は、人に対する優しさと暖かい心と思いやりを備えた、高いレベルの魂を持った人間に必ず成長して行くのでしょうか。

人に幸福を与えたいと願うなら、その与える幸福を自分がしっかりと体と心と魂で、肌で理解していないと、頭だけ、口だけの幸福となってしまう。何故ならば、本当の幸福の中で育っていないから、いびつな考えの幸福しかわからないのです。企業はその仕事を通して、社会に幸福を与えてこそ、社会にとって有益な存在である。企業内部にあって、トップが部下に幸福を与えてこそ、部下にとってトップは有益な存在となる。当然そこには信頼と尊敬が当然として生まれるのです。

家庭にあって、父が、母に幸福を与え、子どもに幸福を与えてこそ、父としての信頼と尊敬を妻や子供から得られるでしょう。

これがロータリーの考え方です。そして、この事を今月、一年の最終の締め切りの月に、ゆっくりと考えて下さい。その為の家族月間なのですから。



IT 委員会レポート

国際ロータリー第 2640 地区 IT 委員長
乾 一嗣

わが国では IT 社会の実現を目指し政府が 2000 年から進めてきた政策「e-Japan 戦略」によって「IT」の基盤が整い、技術が向上しインフラ整備されたおかげで高速インターネットが普及し、現在では有線、無線の区別なく通信できるユビキタスネットワーク環境の下、様々な方法で場所を限定することなくどこに居ても情報を入力、交換できるようになりました。そのように従来コンピューター関連の技術という意味の「IT」から、その技術を活用したコミュニケーションを意味する「ICT」という言葉が広まりつつあります。



我が RI 第 2640 地区内の連絡も地区からの報告の発信等、このホームページを連絡手段の一つとして大いに活用していただいておりますが、はたして上記のようなインターネット環境の発達変化に即して常に環境が改善改良されているのか IT 委員会では気を配るところであります。

一つには、通信手段のパソコンをまだお持ちでない方や持っていてはどうも使い方が分からない苦手だという会員もおられるでしょう。そのような方にもインターネットを利用してロータリーの各ウェブサイトを開覧できるようにサポートをできるような企画も具体化していかなければならないと考えております。だれでもが、いつでも、どこでも繋がっているユビキタス社会をロータリー、少なくとも第 2640 地区内で実践できるような環境づくりに協力できればと思っております。

また、現在私たちロータリアンが三大義務の一つとして購読している「ロータリーの友」誌の電子化が実施されます。現在 10 月号からは試験段階で掲載されていますが、2014 年 1 月号から本格的に実施されます。従来の冊子版購読との兼ね合いもあり現段階では購読料に関してもまだなにも発表はされておられません。また閲覧はロータリージャパンのサイトからのリンク付けとの情報もありますが、各地区 HP や各クラブ HP から閲覧できればもっと広く読まれる機会があるでしょう。電子版が無料化とされるならば外部の HP から閲覧できようになれば会員増強のきっかけにもなることでしょう。

このような重要なことに対する意見やアイデアは国内全クラブ会員から発信されなければならないと思います。そのためには各委員会との連携を強化し情報を発信するだけでなく、各クラブや各会員単位の意見を掬い上げられるようなシステムの環境づくりも IT 委員会として早急に取り組んでいかなければならないと痛感しております。

他、残された問題も沢山ございますが、当 IT 委員会としては少しずつでも前進をし、次代に受け継がれるネットワーク環境を構築するために惜しみなく努力していく所存でございます。

現時点では地区内会員の皆様のご意見、ご要望等はメール、電話によってのみになりますが、環境向上の為にぜひとも会員の皆様のご意見等お聞かせいただければと思います。

国際ロータリー第 2640 地区 IT 委員長 乾 一嗣

『緊急医療体制委員会』

緊急医療体制委員会 委員長
中井 昭宏

国際ロータリー第2640地区では青少年の健全育成をめざし、奉仕活動を行なっています。奉仕活動時の安全確保については最も重要であり、各委員会のもと安全な活動に努めているところです。しかしながら、対策を講じても事故やケガをゼロにすることはできません。事故やケガ等が起きないように注意することはもちろんですが、安全を気にしすぎるあまり奉仕活動が萎縮し魅力のない活動になることは避けなければなりません。また、万一事故が発生した場合には適切な対応が求められることは言うまでもありません。そのため、緊急医療体制委員会を設置しております。本委員会は奉仕プロジェクト際の安全確保と適切な事故対応等を行なえるようマニュアルの作成、救急医療体制の確保、ロータリーボランティアによる対応を行っています。



奉仕プロジェクトの企画段階においても、活動の目的を明確化するとともに、安全に対する意識をもって、日程、プログラム内容、指導体制、用具・装備、緊急時対応などについて検討し、天候や交通事情などによる突発的な計画変更にも対応できるよう、複数のプログラムを用意するなど、活動に無理が生じないようなサポートを行っています。また、青少年プログラムにおいて、ルール・マナーの遵守、安全に対する意識づけ、自己責任の意識づけ、また保護者の責務と安全に対する指導も行っています。参加者の健康状態の把握、特徴の把握、体力、能力、意識、感情の確認も行っています。

基本理念

奉仕プロジェクトに参加する者、特に新世代育成プログラム（以下「プログラム」という）に参加する全ての青少年（以下「新世代」という）の安全と健康および健全な生活を守り、交通災害・自然災害等の事故・災害からの保護と、身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメントを防止すると共に、かかる事態が発生した場合の適切なる対応に努める。本委員会はこのような考え方のもとに、新世代が安心して安全な医療体制を受けられる環境を整えることを目標とする。地区においてはガバナーのリーダーシップのもと、地区ロータリアンがそれぞれの立場からこの問題に取り組み、青少年の安全を確保しつつ必要なプロジェクトを提供していくものとし地区ロータリアンの積極的な取組みを要請する。

- (1) 緊急医療体制委員会の開催および運営
- (2) 新世代プロジェクトで緊急医療に係る安全確保を目的とした報告で得られた事例の発生原因、再発防止策の検討および地区への周知
- (3) 危機管理委員会との連携
- (4) ロータリアンの医療ボランティアネットワーク整備
- (5) その他、緊急医療安全の確保に関する事項

今年度は地区でのマニュアルの作成や各委員会の要望等の確認を行います。



新入会員のご紹介



大川 寿樹
 おおかわ としき
 所属クラブ：御坊東
 生年月日：1963年9月21日
 職業分類：浴場



小門 茂樹
 こかど しげき
 所属クラブ：泉大津
 生年月日：1964年5月31日
 職業分類：自動車板金塗装



久保 義隆
 くぼ よしたか
 所属クラブ：泉佐野
 生年月日：1966年11月21日
 職業分類：銀行



辻 政秀
 つじ まさひで
 所属クラブ：岸和田東
 生年月日：1978年5月7日
 職業分類：通所介護



吉岡 和秀
 よしおか かずひで
 所属クラブ：堺フラワー
 生年月日：1957年2月23日
 職業分類：不動産管理業



新本 憲一
 にいもと けんいち
 所属クラブ：堺おおいずみ
 生年月日：1974年8月2日
 職業分類：飲食店



吉住 哲洋
 よしずみ あきひろ
 所属クラブ：堺フェニックス
 生年月日：1971年9月25日
 職業分類：イベント企画



坂東 利明
 ばんどう としあき
 所属クラブ：和歌山南
 生年月日：1973年9月25日
 職業分類：総合設備工事



橋本 忠通
 はしもと ただみち
 所属クラブ：和歌山南
 生年月日：1975年10月14日
 職業分類：消化器外科医



横田 恭史
 よこた やすみ
 所属クラブ：和歌山南
 生年月日：1962年4月6日
 職業分類：ビール製造業

慎んで哀悼の意を表し、
心からご冥福をお祈り申し上げます。



寺田 為三

てらだ ためぞう

所属クラブ：高師浜
職業分類：不動産賃貸業
在籍期間：8年3ヶ月

1936年11月29日生

2013年10月3日死去

表彰：ポール・ハリス・フェロー
第1回米山功労者



PHF・MPHF・ベネファクター 認証者 2013年5月

Club	Name	
Tanabe-East	Kazumi Sada	F

F・・・ポール・ハリス・フェロー

数字・・・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

BE・・・ベネファクター

米山功労者 米山功労クラブ (10月)



クラブ	氏名	表彰名
羽衣	下迫 浩之	第2回 米山功労者マルチプル
羽衣	高岩 弘至	第3回 米山功労者マルチプル
羽衣	本橋 和則	第3回 米山功労者マルチプル
羽衣	谷野 一彦	第4回 米山功労者マルチプル
海南	小野田 典生	第1回 米山功労者
海南	冬野 泰生	第2回 米山功労者マルチプル
海南	大岡 四郎	第8回 米山功労者マルチプル
岸和田	高松 正剛	第1回 米山功労者
岸和田	利田 泰之	第1回 米山功労者
岸和田	西秦 好郭	第3回 米山功労者マルチプル
岸和田東	上田 潤	第1回 米山功労者
岸和田東	坂本 光文	第1回 米山功労者
岸和田東	正面 隆夫	第3回 米山功労者マルチプル
岸和田東	上林 史和	第3回 米山功労者マルチプル
岸和田東	横田 昌也	第4回 米山功労者マルチプル
岸和田東	山本 新一郎	第4回 米山功労者マルチプル
岸和田東	亀井 亮雄	第5回 米山功労者マルチプル
岸和田東	奥 忠道	第6回 米山功労者マルチプル
高野山	前 清	第1回 米山功労者
高野山	近藤 大玄	第3回 米山功労者マルチプル
高野山	高梨 晃瑞	第6回 米山功労者マルチプル
堺おおいずみ	河村 厚男	第3回 米山功労者マルチプル
堺おおいずみ	田中 源治	第5回 米山功労者マルチプル
堺おおいずみ	岩本 禮次郎	第8回 米山功労者マルチプル
堺フェニックス	米田 眞理子	第30回 米山功労者メジャードナー
堺フェニックス	上好 まゆみ	第1回 米山功労者
堺フェニックス	松本 美和子	第1回 米山功労者
堺フェニックス	松田 香純	第1回 米山功労者
堺フェニックス	中井 昭宏	第2回 米山功労者マルチプル
堺フェニックス	京谷 知明	第3回 米山功労者マルチプル
堺泉ヶ丘	永田 泰	第2回 米山功労者マルチプル
堺泉ヶ丘	大塚 敏幸	第3回 米山功労者マルチプル
堺泉ヶ丘	西田 泰庸	第3回 米山功労者マルチプル
堺泉ヶ丘	阪井 祥博	第4回 米山功労者マルチプル
堺中	奥田 均	第4回 米山功労者マルチプル
堺南	武田 一	第10回 米山功労者メジャードナー
有田	古川 桂三	第4回 米山功労者マルチプル
和歌山東	山東 勝彦	第6回 米山功労者マルチプル
和歌山東	村田 昌之	第6回 米山功労者マルチプル

米山功労クラブ一覧

クラブ	表彰名
海南	第35回 米山功労クラブ
岸和田東	第60回 米山功労クラブ
堺おおいずみ	第18回 米山功労クラブ
堺フェニックス	第16回 米山功労クラブ
堺フェニックス	第17回 米山功労クラブ
堺南	第34回 米山功労クラブ





「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎「人として野球人として」 小早川毅彦 [2013] 8p (D.2530 地区大会記念誌)
- ◎「これからの日本について」 鳥越俊太郎 2013 2p (D.2740 地区大会記録)
- ◎「愛と汗の心」 久世郁夫 2013 13p (D.2510 地区大会記録誌)
- ◎「国際社会の中の日本」 五百旗頭真 2013 2p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「平和って、なに色?～私たちにできることを考えよう!」
ロニー・アレキサンダー 2013 2p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「地域活性化と芸術(アートフォーラム)」 北川フラム(コーディネーター) 2013 6p (D.2760 地区大会記録)
- ◎「誰も書けなかった沖縄」 佐野真一 2013 4p (D.2580 地区大会の記録)
- ◎「いま日本の平和を問う」 小川和久 2013 19p (D.2590 地区大会の記録)
- ◎「ガウディに挑む男を追う!!-職業人としての使命」 星野真澄 [2013] 4p (D.2730 地区大会記録誌)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日





ハイライトよねやま 164

1 寄付金速報 — 米山月間へのご支援に感謝！ —

10月までの寄付金は前年同期と比べ2.3%増、約1,150万円の増加となりました。8~9月は低調だったものの、10月には100万円以上のご送金をいただいたクラブが19クラブ、計2,900万円（前年度は18クラブから計2,300万円）となったほか、3名からそれぞれ100万円ずつの大口寄付をいただきました。その結果、普通寄付金が1.3%増、特別寄付金が3.0%増と、一気に増加へと転じることができました。米山学友を含め、多くのロータリアンの方々からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り2カ月を切りましたが、今後とも引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2 2014学年度奨学金申し込み状況

2014学年度の米山記念奨学金（学部・修士・博士課程／地区奨励）には、指定校531校（昨年度500校）から1,296人（同1,490人）が推薦されました。

被推薦者の国籍・地域別割合は、中国が59.5%（前年度比▲1.9%）、韓国13.6%（▲1.1%）、台湾4.3%（+1.1%）、その他が22.6%（+1.9%）となり、前年に引き続き中国・韓国の割合が減少し、台湾およびその他の国籍が増加しました。その他の国籍で多かったのは、ベトナム、マレーシア、モンゴルでした。課程別では、博士課程が21.1%（▲2.2%）、修士課程41.7%（▲1.3%）、学部課程35.6%（+3.1%）で、学部生の割合が一層増加しています。また、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」は、6地区10校から計19人の応募がありました。

上記とは別に、現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には9地区13クラブから、また、試行2年目となる「海外応募者対象奨学金（個人応募）」には、94件の応募（採用枠は15地区最大3人）がありました。

11月中旬から、各地区へ応募書類を発送し、1月下旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者544人（2013年11月現在）が決定します。

3 ネパールに米山学友会が誕生！

ネパールの首都・カトマンズ市内で、10月19日、ネパール米山学友会の創立総会が開催されました。海外米山学友会としては、台湾、韓国、中国、タイに続いて5番目です。

当日は、ネパールの米山学友15人、日本のロータリアンや関西米山学友会役員ら11人のほか、浜田清彦在ネパール日本国大使館一等書記官ら来賓を含む約40人が出席。初代会長には、スレス・ダス・シュレスタさん（1994-96／大阪天王寺RC、現在カトマンズRC会員）、副会長には、ビジャヤ・パントさん（1995-97／広島東南RC）、そのほか5人の役員が選任されました。スレス会長は「米山記念奨学金のおかげで、ネパールには農業をはじめ各分野のリーダーとして活躍する学友が大勢います。今後は全員と連絡を取り合い、一丸となって日本とネパールの懸け橋となるよう頑張りたい」と、抱負を語りました。



4

奨学生・学友が高齢者と交流 — 第 2770 地区 —



第 2770 地区（埼玉県南東部）の奨学生・学友会が 9 月 14 日、県内にある介護老人保健施設を訪問し、高齢者の方々と交流しました。

当日は渡邊和良ガバナーのほか、奨学生・学友 39 人、地区米山奨学委員らロータリアン約 20 人が参加。司会進行・アトラクションはすべて現役奨学生が自分たちで企画し、準備をしたものです。民族衣装を着て歌や踊りを披露したほか、全員で「ふるさと」「小さな世界」を合唱しました。おやつを食べながらの交流会では、奨学生らが目に涙を浮かべ、高齢者の手を取りながら「元気で長生きしてくださいね」と話しかけ、高齢者が「しっかり勉強して立派な人になりなさい、是非また来てくださいね」と、若い留学生を励ます姿に、周囲も涙を誘われました。同地区米山奨学委員長の駒崎繁夫氏は「今回の活動で奨学生が一層ロータリーの理念を理解してくれたと思う」と、手応えを語りました。

5

姫軍さんがホームカミングで講演 — 第 2580 地区 —

米山学友の里帰り制度「ホームカミング」を通じて、今年も、母国で活躍する米山学友が来日し、ロータリアンや奨学生に向けて、素晴らしいスピーチをしています。

中国学友会初代会長であり、弁護士として活躍する姫軍さんは、第 2580 地区（東京・沖縄）から招へいされ、10 月 30 日に世話クラブの東京臨海ロータリークラブの創立 20 周年記念式典で記念講演を行いました。姫さんは日中関係が悪化している近年の状況を分析しつつ、「民間交流を担うのは政治家ではなく民間人であるわれわれの責任」と訴え、その一つの証しとして昨秋、反日デモが激化する中国で“日本企業と日本人のためのホットライン”を開設し、事務所一丸となって日本人を守る姿勢を公に表明したエピソードを披露、大きな感動を呼びました。

翌 31 日は同地区米山奨学委員会が主催する三者懇親会に参加。現役奨学生とその大学関係者、カウンセラーを前にスピーチに立った姫軍さんは、必死に勉学に打ち込んだ留学時代やロータリーとの出会いで学んだ「利他主義」の話に触れながら、奨学生たちを激励しました。



ホームカミング制度は、「国内在住」「ほかの地区出身」の学友も招へい可能になるなど、地区からの要望にお応えして、少しずつ改良を続けています。さらに今年度から、これまで年間 1 名のみ招へい可能だったのを、年間 2 名まで招へいできるように拡充しました。まだ紹介されていない素晴らしい学友がたくさんいます。多くのロータリアンが集まる地区やクラブの行事に、ぜひホームカミング制度を活用し、活躍する米山学友をお招きください。





日本文化体験の報告 2013年11月17日堺教育文化センターにて開催いたしました。

華道は、池坊の高須佐和子先生、茶道は裏千家の岡田綾子先生、着付けは日本舞踊、宝春会会長の梅川久子先生に、来ていただき、留学生6人が、まず和服に着替え、お茶とお花は2班に分かれて教えてもらい、30分くらいで交代して、2時間くらいの時間をかけて楽しむことができた。

ウェズリーの男ものの和服は彼が大きすぎて足が短い印象を受けたが、女生徒たちは、帯をつけてもらおうとそれなりに大和撫子の雰囲気になり、その姿で、お茶とお花を楽しんだ。お茶では、一人一人お手前をさせてもらい、ナツメや袱紗の使い方など十分ではないが、茶筌を使っておいしい（苦いというイメージがあったようだが）お茶を入れることが出来た。お花では、各自で持って帰ることができるようにセットしていただいた。

それぞれの先生が日本語で指示しているのだが、なんとか通じているようで、コミュニケーションの80%はボディランゲージで可能だと言う真理を、3人の先生方から学ばせていただいた。講師の先生方も留学生もとてもいい表情で楽しむことが出来たと思う。次回は、ROTEXに参加してもらい、日本の伝統遊びなどを入れるのもいいと思った。

青少年交換委員長 山田正人様より





2013年11月14・15日に、2013学年度米山記念奨学生と共に社会貢献活動の一環として、2640地区管内の紀伊山地霊場と参詣道が世界遺産に登録されている熊野古道の修復ボランティア（道普請）に、参加してまいりました。

この熊野古道は悠久の時空を超え万人が思いを刻み、聖地を結ぶ祈りの道、日本の心の伝承であります。その長い長い道のりのほんの一部ではありますが、修復作業をお手伝いできたことは、参加した学生にとって、日本文化を直に触れ、より深く日本を理解することができ、また自分自身の存在に大きな意味を感じることができたことでしょう。

米山奨学生の大学所在地より遠方であることから、なかなか交流をもつ機会が少ない紀南地方の多くのクラブ・ロータリアンの皆様に携わっていただけたことも、有意義な活動の場となりました。田辺東ロータリークラブ・田辺はまゆうロータリークラブ・白浜ロータリークラブ様には、企画の段階から携わっていただき、ご協力ご支援を賜りました。また、1日目は、田辺東クラブ様、2日目は白浜クラブ様に、奨学生たちを例会にお招きいただき、学生との交流をもっていただきました。

15日午後より、田辺市立田辺高校に赴き、社会貢献活動（ワークショップ）を実施させていただきました。今回の活動に際し、ご尽力をいただきました皆々様に、感謝申し上げます。

このような活動が、学生同士の絆を育み、ロータリアンとの交流は、彼らにとって大きな財産となったことでしょう。今後とも、米山記念奨学事業にご理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。





「江戸時代の平均寿命」

私が入局した昭和30年の初めころは、我が国の乳児死亡率は全国平均で出生1000対40であった。特に、地方の農村では1000対80のところもあった。今ではとても考えられないほど高い死亡率である。その後、医学の進歩とともに乳児死亡率も減少し、最近では出生1000対2・4にまで低下した。これは、近年の小児医療の目覚ましい進歩に他ならない。それと共に日本人の平均寿命も男80歳、女86歳となっている。

それでは、遡って江戸時代の日本人はどれほどの生命を保ちえたか。「人生50年」より2年も生きすぎたといった西鶴は52歳、その翌年、芭蕉は51歳でこの世を去った。しかし、同じ元禄時代の文化人でも近松門左衛門は72歳、徳川光圀は73歳まで生きている。

この頃の幕府には民衆の生死についての統計的な資料はない。幸いにも寺院が秘蔵してきた過去帳の中に残されたものがあつた。昭和40年民族衛生学会に過去帳研究委員会が発足し、この隠れた資料を基に研究が進められた。そして、江戸時代から今日に至る一村落の、約2万人に及ぶ住民の記録の分析がなされている。須田圭三医師（飛騨0寺院過去帳の研究、昭和48年）によれば、江戸中期までは記録はないが、江戸後期すなわち明和8年（1771年）から明治3年（1870年）の100年間の平均死亡年齢は、男28・7歳、女28・6歳となっている。これは0歳の平均余命であり、この異常な低さはこの時代に乳幼児の死亡が全死亡の約70～75%を占めていたからである。そして、これらの人々の命を奪った死因は、虫と記された小児病や痘瘡、赤痢、腸チフスなどの急性伝染病であつた。なお、虫という言葉で指す小児病は、今ではどのような病気であるかはわからない。当時は小児の体質は虚弱であり栄養状態も良くないため、受けやすいさまざまな病気を指すものであろうと思はれる。その中には消化不良症、自家中毒症、小児結核、などにあたるものもあつたであろうし、今日ではもはや見られない症状のものもあつたかもしれぬ。そして、虫のように果てた、はかない命であつた。

おなじころ、イギリスにおいても「イギリスにおける労働階級の状態」（1844）によれば、上流階級の平均寿命は25歳、商人は22歳、労働者はわずか15歳であつたという。これも乳幼児死亡率の高さに起因していた。

日本で最初の生命表が発表されたのは、立川昭二著「日本人の病歴」によれば、明治24年～31年（1891～1898）の統計である。そこでは、平均寿命は男42・8歳、女44・3歳であつた。また、立川氏は、応仁元年（1467）～昭和39年（1964）までの約500年、歴史学研究会編日本史年表には、その享年が記載されている人物1098人を時代別に分け、その平均的死亡年齢を求めている。それによると、戦国時代60・4歳、江戸時代67・6歳、明治大正時代60・6歳、昭和時代72・0歳となる。第二次世界大戦後医学の目覚ましい発展により人々の「いのち」は急速に伸びた。これは乳幼児の死因を減らすことができたからである。明治100年の間に「人生40」から「人生70」の世になった。しかし、当時の人々にとっては、今日と違って様々な病気を潜り抜け、やっと成人にまでたどり着いたといえる。これらの命は無数の幼い命の犠牲の上に築かれたものである。当時の異常に低い平均年齢の持つ意味はやはり重く受け止めなければならない。

堺清陵ロータリークラブ 週報 No.1043 抜粋
2011-12 年度健康管理委員会 木寺克彦様より



シドニー国際大会の英語版のご案内

Official newsletter of the Host Organising Committee,
Rotary International Convention Sydney, Australia – June 1-4, 2014
www.rotary2014.com.au

The Sydney 2014

CORROBOREE

INTERNATIONAL EDITION # 3

Enquiries/contributions to Public Relations Sub Committee
Chairman Bob Aitken – bobaitken@rotarydownunder.com.au

ROTARY TO BRING THE WORLD TO SYDNEY

Sydney (10 October 2013) – Sydney to host Rotary International's 105th annual convention 1-4 June 2014, which is expected to attract more than 18,000 Rotary club members from over 150 countries while injecting an estimated AUD 60.5 million into the local economy.

Often described as a "mini-United Nations" because of its global scope and cultural diversity, the always-colourful Rotary convention will transform the Sydney Olympic Park into a kaleidoscope of energy, colour and excitement as Rotary brings together its global network of volunteer leaders – men and women from all walks of life dedicated to tackling the world's most pressing humanitarian challenges – to engage in a full agenda of plenary sessions, workshops and a lineup of world class keynote speakers.

"Sydney is a vibrant international hub as well as a gateway between East and West," said 2013-14 Rotary International President Ron D. Burton. "It is the perfect venue for our convention as we celebrate and share the many ways our members have found to use the resources of Rotary to improve the lives of families worldwide."

Sydney's myriad of attractions, including an Australian Rules football match, a restaurant night and fireworks display, an authentic Aussie BBQ, and a performance of the Sydney Symphony Orchestra.

Organized by Rotary International in conjunction with the Sydney Host Organising Committee of local Rotary leaders, with significant support from the New South Wales Government, the convention also will provide registrants with ample opportunities to savor

Continued overpage

THE SYDNEY 2014 CORROBOREE / #1

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

シドニー国際大会の英語版のご案内がありましたのでお知らせ致します。

資料は国際ロータリー第 2640 地区ホームページ内

「地区について」→「地区からの報告」ページにて公開しております。

URL : http://www.rid2640g.org/kubo/?page_id=25

国際ロータリー第 2640 地区 事務局

GREAT EVENTS - DON'T MISS OUT!
Don't miss out on the best of Sydney...
The Sydney 2014 Convention...
Rotary International...
Sydney...
Australia...
Rotary...
Sydney...
Australia...
Rotary...
Sydney...
Australia...

QUILTS SHOWCASE AUSTRALIA
Experience...
Rotary...
Sydney...
Australia...
Rotary...
Sydney...
Australia...

ROTARACT PRECONVENTION NEWS!
Rotaract...
Sydney...
Australia...
Rotary...
Sydney...
Australia...

第2640地区 出席報告 (2013年10月)



第2640地区 出席報告 (2013年10月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	10月	平均	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	10月	平均
	13.7.1	10月末	10月	累計	10月	累計		出席率	出席率		13.7.1	10月末	10月	累計	10月	累計		出席率	出席率
有田	28	28	0	0	0	0	5	84.43	86.27	那智勝浦	16	16	0	0	0	0	5	77.33	84.75
有田2000	15	16	0	1	0	0	4	96.88	97.40	大阪千代田	24	29	0	9	2	4	5	90.00	89.50
有田南	32	32	0	0	0	0	5	90.00	92.00	大阪金剛	22	22	0	0	0	0	4	88.20	88.00
泉州 KUMATORI	16	50	0	38	0	4	5	100.00	100.00	大阪狭山	10	10	0	0	0	0	5	92.20	91.90
Rotary E-Club Sunrise of Japan		0		0		0				りんくう泉佐野	19	19	0	0	0	0	4	81.94	82.96
藤井寺しゆら	7	8	0	1	0	0	4	94.00	93.00	堺	64	66	0	3	0	1	4	93.23	93.64
御坊	44	47	0	4	0	1	3	89.47	80.52	堺東	31	31	0	0	0	0	4	98.33	98.47
御坊東	14	14	0	0	0	0	4	83.24	86.67	堺フラワー	26	32	1	8	0	2	4	93.00	92.00
御坊南	27	29	0	2	0	0	4	75.20	77.70	堺泉ヶ丘	22	22	0	0	0	0	5	95.45	95.72
羽曳野	15	15	0	0	0	0	4	85.89	87.61	堺中	22	22	0	0	0	0	3	71.21	71.78
羽衣	14	14	0	0	0	0	5	91.41	94.09	堺北	28	32	0	5	0	1	4	86.44	89.34
橋本	52	52	0	3	0	3	4	83.64	91.42	堺おおいずみ	27	31	1	4	0	0	5	88.27	85.99
橋本紀ノ川	10	10	0	0	0	0	4	97.50	95.79	堺フェニックス	31	33	1	2	0	0	5	85.94	82.49
岩出	28	28	0	0	0	0	5	90.00	87.46	堺清陵	15	15	0	0	0	0	5	95.71	93.13
和泉	22	23	0	1	0	0	5	94.66	97.04	堺南	20	20	0	0	0	0	3	87.45	91.80
泉大津	41	42	1	1	0	0	4	86.34	85.72	堺東南	10	10	0	0	0	0	4	90.97	85.99
泉佐野	28	29	1	2	0	1	4	90.66	90.26	新宮	56	58	0	2	0	0	4	84.46	82.93
和泉南	29	29	0	1	0	1	4	63.79	63.06	白浜	8	8	0	0	0	0	4	100.00	96.36
海南	29	30	0	1	0	0	4	76.70	77.90	太子	11	12	0	1	0	0	3	66.70	64.80
海南東	51	51	0	1	0	1	3	72.55	73.91	高石	26	29	0	3	0	0	4	74.75	76.20
海南西	19	19	0	0	0	0	4	87.10	86.97	高師浜	15	16	0	2	1	1	5	85.71	80.51
貝塚	17	17	0	0	0	0	4	91.18	92.11	田辺	81	81	0	0	0	0	5	82.28	83.81
貝塚コスモス	14	14	0	0	0	0	5	89.29	87.42	田辺東	50	50	0	1	0	1	5	97.43	96.95
関西国際空港	19	20	0	1	0	0	4	88.75	84.27	田辺はまゆう	44	45	0	1	0	0	4	94.89	94.89
河内長野	29	28	0	0	1	1	4	77.90	82.40	富田林	38	38	0	0	0	0	4	67.08	72.11
河内長野東	25	26	0	1	0	0	5	80.75	81.79	富田林南	15	15	0	0	0	0	4	80.00	81.67
岸和田	31	31	0	0	0	0	5	90.00	89.11	和歌山	62	66	0	5	0	1	5	87.70	80.82
岸和田東	41	42	1	1	0	0	4	98.65	96.43	和歌山アゼリア	31	34	0	3	0	0	3	78.40	83.10
岸和田北	10	10	0	0	0	0	4	100.00	100.00	和歌山東	41	43	0	2	0	0	5	80.28	79.96
岸和田南	13	12	0	0	0	1	5	61.82	60.17	和歌山城南	41	42	0	1	0	0	4	83.79	79.70
粉河	17	17	0	0	0	0	4	98.33	98.09	和歌山中	29	29	0	0	0	0	4	84.81	86.73
高野山	16	16	0	0	0	0	4	83.50	86.00	和歌山北	37	38	0	1	0	0	3	79.79	81.33
串本	12	12	0	0	0	0	4	62.50	63.82	和歌山南	79	84	3	6	0	1	4	83.05	81.05
松原	26	23	0	0	0	3	5	94.37	88.09	和歌山東南	47	49	0	2	0	0	4	86.34	85.38
松原中	21	22	0	1	0	0	4	84.02	90.02	和歌山西	15	15	0	0	0	0	5	100.00	100.00
美原	11	11	0	0	0	0	4	89.00	89.20										

クラブ	7月1日クラブ会員数			10月末クラブ会員数			10月平均	入会		退会			
	男性	1798	女性	158	男性	1852	女性	177	出席率	10月	累計	10月	累計
71	1956			2029			86.43	9	121	4	28		

【Rotary E-Club Sunrise of Japanは報告拒否のため人数に含めておりません】



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー
第2640地区月信



DISTRICT 2640

2013-2014年度ガバナー事務所

〒596-0825 大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号 3F

TEL:072-437-2640

FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>

